

収穫感謝のとき。農作物は色づき刈り入れるばかりになっています。この収穫という言葉、聖書の中では神様を信じて救われることを指します。今、世界では素晴らしい多くの収穫の時が起っています。また、この教会も新会堂を建築中です。そのような日に、最近発見されたiPSという3つの頭文字を使って、私たちが神様の豊かな祝福を得るために神様と共にどのように歩めばよいか、神の奥義を見ていきましょう。

「I」・・・Intimacy relationship (親密な関係)

神様の愛は感じ取っていても、親密な関係ができていないというクリスチャンが意外と多いように感じます。あなたは神様のことを雲の上の方のように思っていたり目に見えないから日常生活を営む上で分からなくなったりしていないでしょうか。親密な関係がないためにクルシムチャンになっていないでしょうか。神様は私たちに日々の生活の中で時に試練を与えます。しかし信仰を持って歩んでいるクリスチャンに神様は必ず脱出の道を備え、そのことを通して祝福してくれることを私たちは知っています。旧約聖書の民は神様と直接会話していました。新約の時代になると、神様は使徒がすることを聖霊によって禁じられたり、イエスの御霊がお許しにならなかつたりしました。(使徒16:6,7) そのように今、私たちに聖霊様が共にいてくださっています。聖霊 (Holy Spirit) は助け主であり、何でも教えてくださる方、思い起こさせてくださる方です。旧約聖書では聖霊のことをワンダフル (wonderful) は素晴らしいではなく不思議がいっぱいという意味) カウンセラーと呼んでいます。つまり一般常識を超えた超常識的なことをできるのが聖霊様なのです。聖霊に満たされると人は変わります。力を受けて勢いがつく人、触れられて病気が癒される人もいます。神様と親密な関係を持っている人に聖霊様は語り、教え導いてくださいます。なぜなら聖霊様はその人の必要を知っておられるからです。ですから聖霊様ともっと親密な関係を持ちましょう。

「P」・・・Positive!! (積極的)

私たちはイエス様を信じて救われたら、いのちの書に名が記されることを知っています。クリスチャンの中に、そこがゴールと思っている人が少なからずいます。また今は、いつ主が来られるか、いつこの世が終わるのかという時代です。しかしそういう状況にあっても私たちはどうにでもなれという思いでなく、この地で生かされている間は主のみことばに約束されていることを積極的にしなければいけません。時に神様は愛する子のために試練を与えます。聖書の中には試練を受ける人の姿がいくつも書かれています。これはその人がよりすぐれた神の子として成長していくために神様が前もって計画していることであり、あなたがたも同じようにそれを受ける人です。創世記22章で神様はアブラハムに愛する息子イサクをいけにえとして捧げるように命じます。内容的には理不尽、不条理に思えるものですが、このことを通して神様は父として子であるアブラハムが神を大切に思っているか、神に従うかをみようとしたのです。アブラハムはどのように行動したでしょうか。彼はひとつもネガティブな態度をとらず、全き従順で神様の言われることを粛々と行っていきます。彼は神様がこの先に用意してくださっている祝福を必ず与えてくださる、ヘブル11:19にもあるようにイサクがたとえ死んでしまったとしても必ず神様がよみがえらせてくださると信じて行ったのです。彼はイエス様の復活がまだ分からない時代であっても、神様との親しい交わりの中で信仰を持っていれば死を打ち破ることもできることを知っていたのです。そしてそのアブラハムの子孫が私たちです。

Ⅱ テモテ1:7にあるように、神様は私たちにおくびょうの霊ではなく、力と愛と憤みとの霊を与えてくださいました。では私たちが神様にあって必ず成るといふ信仰はどこから来るのでしょうか。それは告白によって来ます。マルコ11:23には「山に向かって、『動いて、海に入れ』と言って、心の中で疑わず、ただ、自分の言ったとおりになると信じるなら、そのとおりになります。」とあります。私たちがこの信仰で生きようとしたら、神様は考えられないほどの祝福を用意してくださるのです。最近の研究で脳の一部である言語中枢のブローカ野を刺激すると体全身が動くということが明らかになってきました。(聖書にはすでにこのことが書いてあります) このことから言語中枢が全身全霊をコントロールしていることが分かります。つまり、もしあなたが無理だと言ったら何も起きないけれど、大丈夫やれると言ったらその言葉に従ってそのとおりになるのです。このことは名だたるトップリーダーも同じ事を言っています。ですから自分の発する言葉に気をつけましょう。神様の語られることばは常に希望を与え肯定的です。ですから私たちがいつも前向きで積極的な言葉を語りましょう。結果その言葉によって物事は生み出され発展していきます。しかし逆の言葉は私たちに破壊や破滅をもたらします。暗闇の力はいつもマイナスな言葉で疑わせ不信仰にさせて神の計画を実現させないようにさせます。ですからもし失言、マイナスなことを発してしまったなら、神様に祈り元の場所に戻りましょう。そして神様の語られることば、聖書のみことばにたって歩んでいきましょう。

「S」・・・Surrender (主に委ねる)

これは降参するという意味です。私たちの人生には自分の力だけではできないということがたくさんあります。そのことを徹底的に知ったクリスチャンは神様に全てを委ねることができます。私たちの主はなんでもできるということを知っているのです。全てをあげ渡すことができるのです。このSurrenderの原語は「Rolling the ball on the road」、例えるならボウリングでボールに自分の思いを託すこと、つまり主に対する祈りと一緒の意味を持ちます。あなたが今抱えている問題を思うとき、そのことを重荷と感じていないでしょうか。もしそうならばそれはあなたが自分の力だけでなんとかしようとしているからかもしれません。私たちが本来負うべきは軽いのですが、神様に委ねず自分で抱え込んでしまうならそれが重荷に変わってしまいます。ですから自分の力ではなく、全て主に委ねる人生へと変えていきましょう。

これからは神様になんでも相談しなんでも話して、主からの声、導きを感じ取りましょう。これこそ神の奥義です。今の状況がたとえマイナスであってもそれはいつまでも続きません。なぜならあなたには主が共におられるからです!! この導きを受けるならあなたの問題は解決されます。闇に光が当てられ、私たちの考えつかないことが神様によって起こるのです。ですからこれからの将来、聖なるiPSをしっかり掴んであなたの歩みに生かしていきましょう。(要約者: 金光 瞳)